

「草花と友だち」(造形遊び・第2学年)

1. 題材名「草花と友だち」
2. 題材のねらい
 - ・身近な草花を主とした材料への関心や愛着を高め、色や形などに着目して思いついた造形活動を楽しむ。
 - ・身近な自然物の色や形などに関心をもって集め、その感じや表現を楽しく話したり見たりする。
3. 題材の評価規準
 - ・好きな色や形、使ってみたい材料などに関心を持ち、活動を楽しもうとする。
(ア関心・意欲・態度)
 - ・活動しながら思いをふくらませ、自分らしい表し方を見つけたり考えたりする。
(イ発想や構想の能力)
 - ・もっと楽しくなるように思いついた方法を試す。
(ウ創造的な技能)
 - ・身近な材料の色や形などの感じを楽しみ、使ってみようとする。(エ鑑賞の能力)
4. 材料・場所
 - ・草花・粘着テープ・布・土・砂・小石・プリンカップ・紙皿・木づちなど
 - ・学校の坂道のまわりや学校のそばの公園
5. 実践に当たって
 - ・子どもたちは生活科でも春を見つけたり草花遊びをしたり、自然に親しむ活動を繰り返し実施している。ふんだんにありいつでも使える草花を材料にした表現活動をすれば、子どもたちは安心して活動に取り組み、優しい気持ちで心を開いて楽しむことができると考える。
 - ・目的に合わせて材料を自分で選んだり、どんなふうに並べるか考えて表現したりできるような声かけを心がけたい。
6. 活動の全体構想と活動計画(3時間)

時間	主な学習活動	評価規準(評価方法)	教師の支援
1時間	<p>「春のいい物見つけたよ」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・草花のワッペンを作ることを知る。 ・10cmくらいに切った粘着テープに春のいい物を見つけて貼る活動をする。 ・できた物を胸に飾ったり、見せ合ったりする。 	<p>意：草花の色や形に関心を持って見る。 (発言・行動)</p> <p>技：春のいい物を見つけて、形や色などを生かしてはる。 (発言・行動・作品)</p> <p>鑑：しゃがんだりのぞき込んだりして、楽しく見る。 (行動)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・よさを伝え、お互いの活動への関心を持たせるよう心がける。

2・3時間	<p>「草や花の形を写そう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・草花でたたき染めを知ることを知る。 ・布の上でたたき染めを楽しむ。 <p>・作品を広げて見合う。</p>	<p>意：身近な草花の色や形に関心をもつて集め、色の付き方を感じながら染めることを楽しむ。 (行動・表現)</p> <p>想：色や形の美しさやおもしろさの特徴を生かし、いろいろな工夫を考える。(発言・行動・表現)</p> <p>技：思い付くことに合わせて材料を自分で集めたり選んだりし、いろいろな試してみる。(行動・表現)</p> <p>鑑：色の違いやきれいな部分を見つけたり話したりする。 (発言・行動)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・おもしろい表現や発想を認め、他の子どもに広める。
-------	---	---	---

※評価標準の表記…意：造形への関心・意欲・態度、想：発想や構想の能力、技：創造的な技能
鑑：鑑賞の能力

7. 活動の実際

<p>「春のいい物見つけたよ」</p>  	<p>くつつく・ワッペンにできるという単純な活動に「おもしろい。」ととても興味を持ち、どんどん探してくっつけていく姿が見られた。最初は結構大きい物をとってきて貼ろうとする子どももいたが、子どもなりに大きさを考えて、貼る物を吟味して、どこに貼るか考える姿が見られた。斜めに貼って空間を残している子、顔のように見えてきてそれに合う材料を探している子、「ここに赤い実があったよ。」ときれいな小さい赤い実を見つけて嬉しそうに貼っている子、友だちのを見て「その紫の花どこにあった？きれいな色だね。」と教えてもらってつんでいる子、お互い影響しあいながら2個、3個、多い子は4個と集中して作っていた。花や葉っぱ、実、中には公園においていた箱を利用している子もいた。自分らしい活動をしている子をみんなに知らせるように心がけた。最後に集まって見せ合う活動をして、楽しんだ。</p> <p>しばらく学校に飾った人もいるしすぐに胸に貼って喜んで帰った人もいた。帰ってからの様子を翌日知らせてくれた人がいた。</p>
<p>「草や花の形を写そう」</p>	<p>最初教室で小さい布に教師が準備した赤いかえでの葉っぱを使ってたく練習をした。ワッペンより力もいるしややむずかしい活動だったが</p>



したことのないおもしろさやコツがだんだん分かってきた楽しさで、早く外でしたいなという声が出てきた。

いろいろな葉っぱや花、実で試したい気持ちがいっぱいだったので、次々としてきてたたいてみて、「先生、きれいに出了よ。」「それどの葉っぱ？」などとおしゃべりしながら夢中で活動した。慣れてきたので、ナフキンくらいの大きさの布を渡し、「どんなのにしたいか考えて自分のすてきなナフキンにしよう。」と提案した。早速置く場所を考えて気に入った材料を置き染めていった。気に入った材料は何回もとしてきてスタンプのように繰り返し並べる姿も見られた。赤や緑、紫などはっきり色が出る物が人気だった。予想と違う色に染まるものもあることを発見し、思いの外きれいだったと気に入っている子もいた。